

オレンジセーフティネット (全国対応)

略称：OSN

1 (行方不明者)声かけ・検索側フロー

“オレンジ協力隊員”

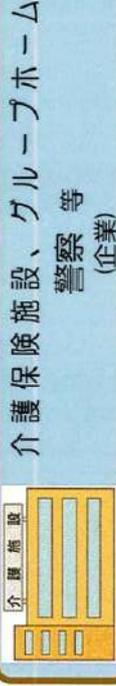
(認知症サポーター、SOS協力者、施設職員等)

事前登録



2 登録機関 (オレンジサポート) 側フロー

①一時サポート(保護) ②預かり の窓口



介護施設、グループホーム
警察等
(企業)

“オレンジサポート機関”

①②としての登録

3 サポート (検索) を願う側 (施設・警察等の登録機関) 側のフロー

登録・検索願出	検索を願う側による
登録機関による検索	オレンジサポーターによる検索
最寄登録機関①②による身柄の安全保護	



オレンジセーフティネット構築委員会

1 目 的

認知症行方不明者の早期発見・保護を行うための全国的ネットワーク「オレンジセーフティネット」の構築に向け、全国規模のサポート体制整備を行う社会基盤のあり方の検討や、全国レベルのサポートネットワークシステムの開発を行うことを目的とする。

2 構 成

- ・「名簿」参照
- ・議論を具体的に進めプレトリアル(試行)等を行うため、都道府県を中心構成員とするワーキンググループを設置。

3 開催経過

◇第1回委員会(平成28年10月7日)

- ・委員会の設置について
- ・オレンジセーフティネットの趣旨説明
- ・システム開発とそれに伴うプレトリアルの実施等について
 - ・サポート体制・社会基盤等の整備について

◇第1回ワーキンググループ(平成28年11月18日)

- ・第1回委員会の内容を報告し、ワーキンググループの設置について
- ・都道府県等におけるSOS・見守りネットワークの現状を報告及びオレンジセーフティネット構築に向けた実際上の課題について
- ・今後のスケジュール(プレトリアルの実施等)について

◇第2回ワーキンググループ(平成28年12月26日)

- ・オレンジセーフティネット アプリケーションの活用イメージの説明。登録方法などの仕様についての検討
- ・プレトリアルの実施について

◇第2回委員会・同ワーキンググループ合同委員会(平成29年2月15日)

- ・プレトリアルの実施に関して、参加予定道府県・市等への事前説明経過、実施スケジュール等について
- ・実施要項についての検討

◇第3回委員会・同ワーキンググループ合同委員会(平成29年7月5日)

- ・プレトリアルの実施報告及び開発したオレンジセーフティネット アプリケーションの実演及び意見交換
- ・今後のスケジュール(モデル事業等)について

付記:その他、平成29年9月25日に第4回合同委員会、平成30年7月18日に第5回委員会を開催。

オレンジセーフティネット構築委員会
同 ワーキンググループ
名 簿 (案)

◎は委員長 ○は副委員長

伊奈川 秀和	東洋大学社会学部社会福祉学科 教授
今井 準幸	全国農業協同組合中央会(全中) 支援部 次長
大磯 恭子	住友生命保険相互会社 営業教育部 営業教育室 推進役
大島 伸一	国立長寿医療研究センター 名誉総長
大森 彌 ◎	東京大学名誉教授 / 特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク代表理事
金丸 治子	イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部 部長
河崎 茂子	公益社団法人日本認知症グループホーム協会 会長
川原 秀夫	全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 理事長
末廣 孝信	株式会社三井住友銀行 経営企画部 CSR室 室長
杉山 孝博	公益社団法人 認知症の人と家族の会 副代表理事
関 康人	東京海上日動火災保険株式会社 業務企画部 調査企画グループ 課長
田中 滋	慶應義塾大学大学院経営管理研究科 名誉教授
中島 達朗	あいおいニッセイ同和損保 経営企画部 プロジェクト推進グループ 担当部長
東 憲太郎	公益社団法人全国老人保健施設協会 会長
古谷 明彦	株式会社みずほフィナンシャルグループ お客様サービス部 企画チーム 参事役
松原 淳	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部 企画調査課 課長
南里 彩子	株式会社三菱東京UFJ銀行 コーポレート・コミュニケーション部 部長
武藤 岳人	公益社団法人全国老人福祉施設協議会 在宅サービス委員会 委員長
山崎 史郎 ○	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 代表理事 (現駐リニア全権大使)

【ワーキンググループ】

木南 孝幸	北海道本別町 総合ケアセンター 所長補佐
河野 好美	千葉県浦安市 福祉部 介護保険課 給付指導係長(保健師)
篠田 浩	岐阜県大垣市 福祉部 社会福祉課 課長
柴田 英伸	熊本県 健康福祉部 長寿社会局 認知症対策・地域ケア推進課 課長
社本 学	愛知県豊田市 福祉部 高齢福祉課 主査
橋本 修一	岡山県 保健福祉部 長寿社会課 長寿社会企画班 副参事

【オブザーバー】

厚生労働省 老健局 総務課 認知症施策推進室

【事務局】

特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 全国キャラバン・メイト連絡協議会

(2018.7.6 現在)

オレンジセーフティネット(OSN) プレトリアル実施報告

1. 都道府県への説明 参考資料1-1.1-2

○各道府県庁・市役所を訪れ、オレンジセーフティネット プレトリアル実施についての説明、依頼。

◇京都府 平成29年1月18日

片岡 美佳	健康福祉部高齢者支援課 認知症総合戦略担当課長
小尾 幸平	地域包括ケア推進担当 主事
西田 勝志	京都府警察本部生活安全部生活安全対策課 子どもと女性を守る対策室長 警視
水野 哲二	子どもと女性を守る対策室長補佐 警部
後藤 教利	子どもと女性を守る対策室 ストーカー対策係 警部補

◇熊本県 平成29年2月7日

松尾 俊司	健康福祉部長寿社会局認知症対策・地域ケア推進課 課長
美並 典彦	課長補佐
大石 顕寛	主幹
唐田 佑樹	認知症対策班 主事
豊田 隆一郎	山鹿市 福祉部長寿支援課 地域包括支援係 係長
山下 力	山鹿市地域包括支援センター 認知症地域支援推進員

◇静岡県 平成29年2月10日

後藤 雄介	健康福祉部福祉長寿局長寿政策課 課長
望月 秀史	介護予防班 班長
高田 耕平	介護予防班 主任
杉村 亮	島田市 健康福祉部長寿介護課地域支援係 係長
古荘 久美	主任保健師

◇北海道 平成29年2月21日

田中 宏之	保健福祉部 少子高齢化対策監
山谷 智彦	保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課地域包括ケアグループ 主幹
平井 直子	主査
浮田 啓文	主任
小林 誠	釧路保健所 主任保健師
今井 歩海	釧路市 福祉部介護高齢課高齢福祉担当 主査
鷹見 聡	北海道警察本部生活安全部子供・女性安全対策課行方不明・保護対策係 警部補

◇愛知県春日井市 平成29年3月8日

神戸 洋史	健康福祉部地域福祉課 課長
吉村 典子	健康福祉部地域福祉課 地域包括ケア推進室 室長
佐口 早紀	主事
上野 陽介	主査
水野 雄也	社会福祉法人・医師財団愛知県同袍援護会 地域包括支援センター春緑苑 社会福祉士・主任介護支援専門員

2. 参加了承の確認

○説明を行った道府県市において、実施の是非及び参加市町村・協力者等を確定し、年度内に参加了承の確認。

○実施意向道府県市に対して参加実施依頼書を送付。

3. 事前説明会の開催

(説明会の開催)

○実施を予定する地元市町等を訪れ、プレトリアルについての具体的説明を行った。

◇愛知県春日井市・中部大学 平成29年4月12日

会 場	中部大学
参加者	中部大学教員・学生約30名 及び 春日井市事務局担当職員

◇京都府 精華町 平成29年4月12日

会 場	社会福祉法人カトリック京都司教区カリス会 高齢者総合福祉施設 神の園
参加者	精華町キャラバン・メイト連絡会 代表、精華町事務局担当職員 ほか2名

◇北海道 釧路市・釧路町 平成29年4月19日

会 場	北海道釧路保健所
参加者	釧路市・釧路町内の一般市民・家族の会、介護事業者等約50名 及び 釧路市・釧路町の事務局担当職員、警察

◇熊本県 山鹿市・菊池市 平成29年5月18日

会 場	熊本県庁
参加者	熊本県、山鹿市、菊池市の事務局担当職員

◇静岡県 島田市 平成29年5月26日

会 場	島田市保健福祉センターはなみずき
参加者	島田市の一般市民、介護事業者等約50名 及び 島田市の事務局担当職員、警察

(実施範囲・シナリオの検討)

○実施予定市町等において、プレトリアル実施にあたって、地元の地理特性などを勘案して具体的な実施(搜索)範囲やシナリオの検討を行い、実施に備えた。

4. プレトリアルの実施 参考資料2

○参加者には、参加同意書「実施にあたっての確認(参加書)」提出のうえ実施。

◇愛知県春日井市・岐阜県多治見市・中部大学 平成29年4月26日 午後1時～午後4時

場所・実施範囲	春日井市緑ヶ丘老人憩いの家 / 石尾台小学校校区
参加者・数	地域住民、中部大学学生、春日井市・多治見市・愛知県行政職員、警察など 82名
シナリオ	[グループ1] 午後1時頃、石尾台地内で65歳女性が、家族が目を離れた際に自宅から行方不明。石尾台中学校方面を徘徊。午後2時半頃搜索依頼。約30分後、行方不明先から約1km圏内で発見。 [グループ2]…多治見市とOSNで結び実施 午前7時頃、岐阜県多治見市音羽町地内で70歳男性が、散歩から帰らず行方不明。県境を越えて徘徊。午後2時半頃搜索依頼。約30分後に発見。

◇北海道 釧路市・釧路町 平成29年5月24日 午後1時～午後4時

場所・実施範囲	釧路市防災庁舎 / 同庁周辺(4ブロック[A~D])に分けて搜索
参加者・数	地域包括支援センター、介護保険施設等職員、警察、消防、医療機関、など 50名
シナリオ	北海道庁(札幌市)とOSNで結び実施。釧路町内の自宅から散歩後、行方不明。釧路市内行きの路線バスに乗ったとの情報。14時搜索依頼。フィッシャーマンズワーフMOOに向けて徘徊。約30分後、釧路川沿いで発見。

◇熊本県 山鹿市・菊池市 平成29年5月29日 午後1時～午後4時

場所・実施範囲	菊池市七城公民館 / 山鹿市・菊池市全域
参加者・数	地域住民、介護保険施設等職員、山鹿市・菊池市行政職員、警察など 約50名
シナリオ	自宅を山鹿健康福祉センターに設定。74歳女性が同市内で行方不明になったとの情報。午後1時20分、山鹿市の登録者へ搜索依頼。2人1組となり車による搜索。14時、菊池市の登録者へ搜索範囲を拡大。約50分後、菊池市内で発見。

◇静岡県 島田市 平成29年6月19日 午後1時30分～午後4時

場所・実施範囲	島田市保健福祉センターはなみずき / センター周辺
参加者・数	介護保険施設等職員、地域包括支援センター、島田市・藤枝市行政職員、警察など 約40名
シナリオ	[グループ1] 午後2時15分頃、80歳女性が中央町のカーマホームセンターで行方不明。午後2時半搜索依頼。約15分後、行方不明先から約1km圏内の同公園内で発見。 [グループ2] 午後2時15分頃、69歳女性が野田の島田市民病院付近で行方不明。午後午後2時半搜索依頼。約30分後、元島田公会堂で座り込んでいるところを発見。

◇京都府 精華町 未済

5. プレトリアル参加者等総括報告 参考資料3

(1) 全参加者

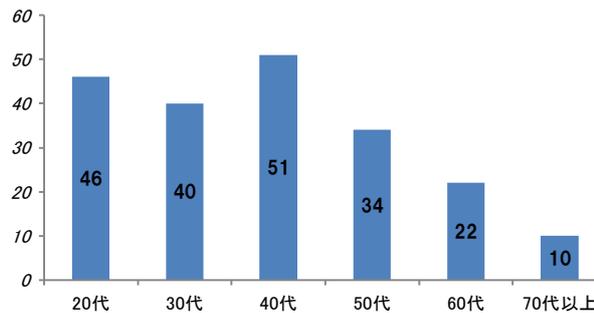
203名 ※各県等から得た実施報告(集計表)による集計数
(キャラバン・メイト及び認知症サポーター9割)

(2) 性別 (n=203)

男性 80名 女性 123名

(3) 年齢 (n=203)

20代 46名
30代 40名
40代 51名
50代 34名
60代 22名
70代以上 10名



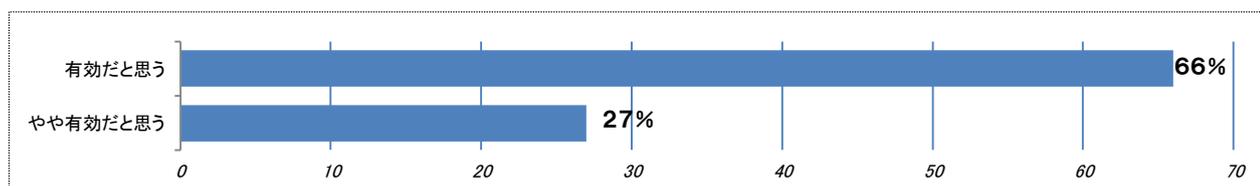
(4) 参加者の属性 ※プレトリアル時に回収した参加同意書等から名寄せ集計したため、実施報告の全参加者数とは整合しない。

行政	56名	(直営包括職員含む)
地域包括支援センター	35名	
警察	6名	
消防	1名	
介護事業者等	35名	
医療機関	1名	
薬剤師会・薬局	2名	
一般住民	35名	
大学	27名	(学生24・先生3)
報道機関	5名	
その他(無記名)	1名	
合計	204名	

(5) 報道・掲載記事 参考資料4

新聞記事	8 (取材は10)
ニュース放送等(映像)	6 (取材は7)

(6) アンケート集計結果 参考資料5



6. プレトリアル実施自治体における現状の SOS ネットワークの取組 参考資料6

自治体名	SOS ネットワーク 取組状況	協力市民への 情報伝達の方法	近隣自治体 との連携
北海道釧路市	釧路地域 SOS ネットワーク	FM ラジオ	釧路総合振興局 (8市町)で連携
北海道釧路町	釧路地域 SOS ネットワーク 釧路町 SOS メーリングリスト	防災無線、HP、 メール(事前登録制)	
静岡県島田市	未実施	—	—
愛知県春日井市	かえるネット春日井	メール(事前登録制)	なし
岐阜県多治見市	多治見市緊急メール	メール(事前登録制)	なし
熊本県山鹿市	山鹿市 SOS メール	メール(事前登録制)	なし
熊本県菊池市	未実施	—	—

※SOS ネットワークの情報伝達の仕組みは自治体ごとに異なる。

OSN により、既存 SOS ネットワークを阻害することなく、自治体の枠を超えた情報連携
という課題への対応は可能

👉 アンケート回答結果

※アンケート回収分のみ

アンケート回答者内訳(男女別/年代別)

アンケート回答者内訳(男女別)

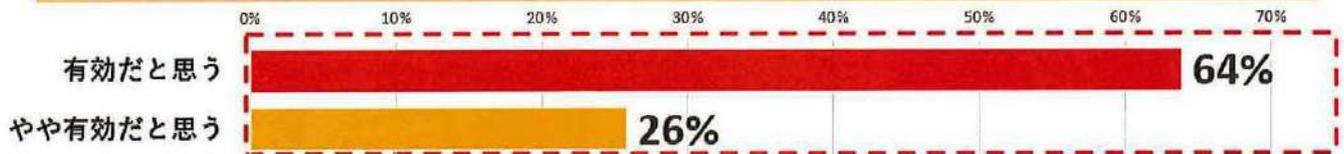
	愛知県・岐阜県	北海道	熊本県	静岡県	京都府	合計	
	春日井市・多治見市	釧路市 釧路町	山鹿市 菊池市	島田市	精華町		
	4月26日	5月24日	5月29日	6月19日	7月26日		
男性	12	20	14	7	5	58	36%
女性	44	19	15	17	2	97	60%
回答なし	4	—	3	1	0	8	5%
合計	60	39	32	25	7	163	—

アンケート回答者内訳(年代別)

	愛知県・岐阜県	北海道	熊本県	静岡県	京都府	合計	
	春日井市・多治見市	釧路市 釧路町	山鹿市 菊池市	島田市	精華町		
	4月26日	5月24日	5月29日	6月19日	7月26日		
10代	0	0	0	0	0	0	0%
20代	26	4	2	3	1	36	22%
30代	7	13	8	5	0	33	20%
40代	11	8	8	4	4	35	21%
50代	4	8	10	7	2	31	19%
60代	5	5	3	3	0	16	10%
70代	6	1	0	3	0	10	6%
回答なし	1	0	1	0	0	2	1%
合計	60	39	32	25	7	163	—

アンケート結果集計

1. 「オレンジセーフティネット」は、見守り活動に有効だと思いますか？



(コメント抜粋)

広域での見守りが可能	協力隊の活動状況をもとに 検索範囲を検討できる
情報・写真が視覚的に得られる (今まではラジオだけだった)	テレビ・新聞で知るだけだったが 検索情報が広く広まる
気軽に参加協力ができる	リアルタイムで情報の やりとりができるのがよい

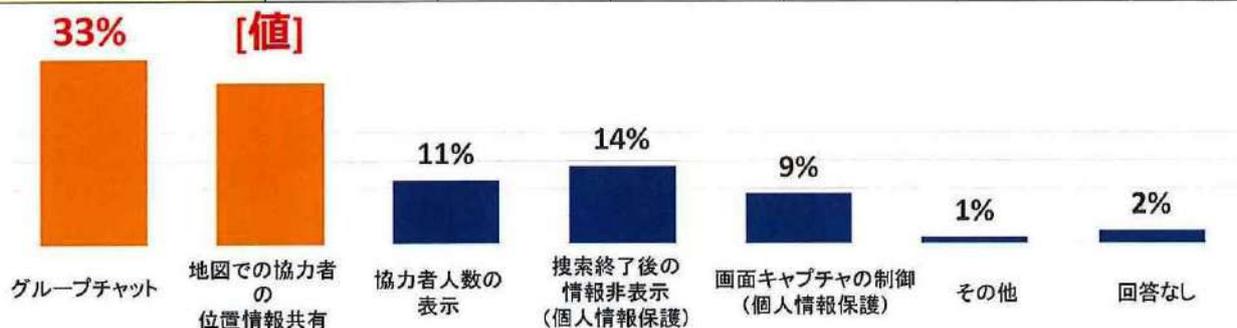
(「どちらとも言えない」回答コメント)

通知が多いと見る気がしなくなる	高齢者はスマホを持っていない
-----------------	----------------

アンケート結果集計

2. 見守り活動に有効だと思った機能に○をつけて下さい。(複数選択可)

	愛知県・岐阜県	北海道	熊本県	静岡県	京都府	合計
	春日井市・多治見市	釧路市 釧路町	山鹿市 菊池市	島田市	精華町	
	4月26日	5月24日	5月29日	6月19日	7月26日	
グループチャット	46	33	32	14	6	131 33%
地図での協力者の位置情報共有	34	30	26	18	6	114 29%
協力者の人数の表示	13	14	11	6	1	45 11%
検索終了後の情報非表示 (個人情報保護)	26	11	10	6	2	55 14%
画面キャプチャの制御 (個人情報保護)	13	5	9	6	2	35 9%
その他	0	3	0	1	0	4 1%
*回答なし	5	2	0	2	0	9 2%



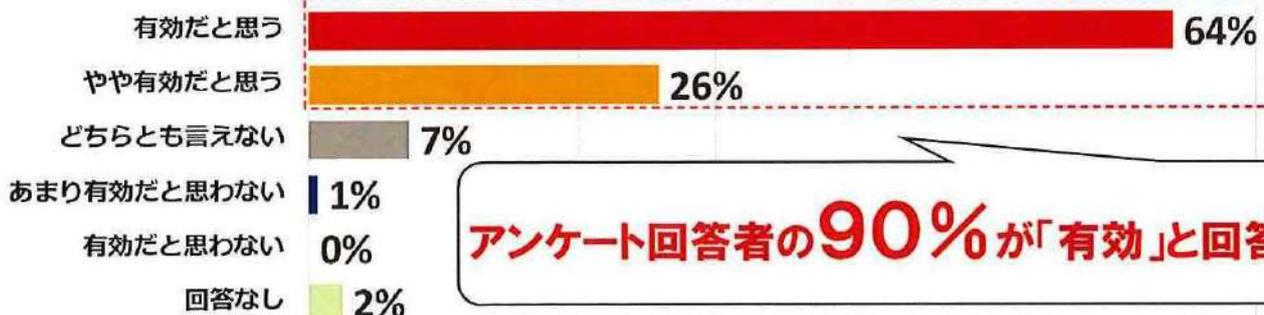
アンケート回答者内訳(職業別)

	愛知県・岐阜県	北海道	熊本県	静岡県	京都府	合計	
	春日井市・多治見市	釧路市 釧路町	山鹿市 菊池市	島田市	精華町		
	4月26日	5月24日	5月29日	6月19日	7月26日		
住民(一般)	8	1	1	0	0	10	6%
学生(大学生)	21	0	0	0	0	21	13%
行政	9	8	9	5	1	32	20%
民生委員	2	0	1	1	0	4	2%
地域包括支援センター	0	9	3	4	1	17	10%
施設等職員	18	14	12	8	2	54	33%
企業又は団体	1	5	1	5	1	13	8%
警察	0	0	4	2	2	8	5%
消防	0	1	0	0	0	1	1%
その他	0	1	0	0	0	1	1%
回答なし	1	0	1	0	0	2	1%
合計	60	39	32	25	7	163	—

アンケート結果集計

1. 「オレンジセーフティネット」は、見守り活動に有効だと思いますか？

	愛知県・岐阜県	北海道	熊本県	静岡県	京都府	合計	
	春日井市・多治見市	釧路市 釧路町	山鹿市 菊池市	島田市	精華町		
	4月26日	5月24日	5月29日	6月19日	7月26日		
有効だと思う	33	28	26	11	6	104	64%
やや有効だと思う	22	11	3	6	0	42	26%
どちらとも言えない	3	0	3	6	0	12	7%
あまり有効だと思わない	1	0	0	0	0	1	1%
有効だと思わない	0	0	0	0	0	0	0%
回答なし	1	0	0	2	1	4	2%



オレンジセーフティネットをスライド1枚で説明すると・・・

【参考】
ソフトバンク社の
OSN説明資料より

全国で横断的な見守りネットワークを目的とした唯一の仕組み

検索依頼

広域化

探してもらいたい範囲 (必須)

検索依頼の一斉送信
* 距離による範囲指定

搜索協力

見える化

「協力者」の
位置/人数の見える化

情報共有

グループトーク機能で、
搜索状況の共有が可能

個人情報保護

依頼取下げ後、非表示
(24時間経過で完全削除)

平成 30 年度予算（案）の概要（老健局）

（中略）

6. 認知症高齢者等にやさしい地域づくりのための施策の推進

（29予算） 88 億円 → （30予算案） 97 億円

「認知症施策推進総合戦略」（新オレンジプラン）に基づき、早期診断・早期対応を軸とした、認知症の容態に応じた切れ目のない適時・適切な医療・介護等の提供が図られる仕組みを構築するなど、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進する。

○ 認知症に係る地域支援事業の充実（社会保障の充実）【再掲】

○ 認知症施策の総合的な取組【拡充】 14億円 → 15億円

ア 認知症施策総合戦略の推進【一部新規】

「認知症施策推進総合戦略」（新オレンジプラン）に基づき、適時適切な医療介護等の提供、若年性認知症の人への支援、地域での見守り体制の確立等、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進するため、以下の取組を実施する。また、認知症サポーターの更なる地域での活用を促進する取組への支援も行う。

- ・先駆的な取組の共有や広域での連携体制の構築
 - 広域の見守りネットワークの構築（都道府県を越えたブロック単位を追加）
 - 認知症の本人が集う取組の普及
 - 認知症初期集中支援チームや地域支援推進員の活動支援
（都道府県支援の拡充（専門職等派遣））
 - 認知症医療と介護の連携の枠組み構築 等
- ・認知症の人や家族が気軽に相談できる体制の構築、認知症の理解の促進
- ・若年性認知症の本人の状態やライフステージに応じた適切な支援
 - 若年性認知症支援コーディネーターの設置拡充
 - 若年性認知症の人の社会参加活動の推進
 - 若年性認知症支援のための全国的な相談体制の充実

イ 認知症疾患医療センターの整備の促進

認知症の人とその家族に対する早期診断や早期対応を行うため、認知症の専門医療機関である認知症疾患医療センター（基幹型、地域型、連携型）を整備する。

ウ 成年後見制度の利用促進のための体制整備

認知症高齢者等が円滑に成年後見制度の利用や成年後見人等の支援を受けられるスキームづくりや運用などの体制整備を市町村において確立していくため、都道府県による支援の推進を図る。

「認知症施策等総合支援事業の実施について」（平成26年7月9日老発0709第3号厚生労働省老健局長通知）新旧対照表

改 正 後	現 行
<p>(別添1)</p> <p>認知症総合戦略推進事業実施要綱</p> <p>1 目的 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）に基づき、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進していくための事業を実施することを目的とする。</p> <p>2 実施主体 本事業の実施主体は、都道府県とする。ただし、3（2）及び（4）の事業については、都道府県及び指定都市（以下「都道府県等」という。）とする。 なお、事業運営の全部又は一部を、適切な事業運営が確保できると認められる団体等に委託することができるものとする。</p> <p>3 事業内容 (1) 認知症総合戦略加速化推進事業 認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進していくため、都道府県を中心とした以下の取組を実施する。 ア 認知症の人の見守りに係る市町村（特別区、一部事務組合、広域連合等を含む。以下同じ。）、都道府県を越えた広域のネットワークの構築 認知症の人やその家族が安心して暮らすためには、地域による見守り体制の構築が重要であることから、各市町村単位で実施される認知症高齢者見守り事業（「地域支援事業の実施について」（平成18年6月9日老発第0609001号厚生労働省老健局長通知）に基づく事業をいう。以下同じ。）と連携して以下の事業を実施する。 ・ 各都道府県における、認知症高齢者見守り事業実施市町村と未実施市町村との課題等の共有のための会議の開催 ・ 市町村を越えた広域での認知症の人の捜索活動を行う模擬訓練の実施 ・ 都道府県を越えた広域での普及・啓発の実施や行方不明認知症高齢者が発生した際の共通の捜索のガイドライン・様式の作成を進めるための会議の開催等</p>	<p>(別添1)</p> <p>認知症総合戦略推進事業実施要綱</p> <p>1 目的 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）に基づき、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進していくための事業を実施することを目的とする。</p> <p>2 実施主体 本事業の実施主体は、都道府県とする。ただし、3（2）の事業については、都道府県及び指定都市（以下「都道府県等」という。）とする。 なお、事業運営の全部又は一部を、適切な事業運営が確保できると認められる団体等に委託することができるものとする。</p> <p>3 事業内容 (1) 認知症総合戦略加速化推進事業 認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進していくため、都道府県を中心とした以下の取組を実施する。 ア 認知症の人の見守りに係る市町村（特別区、一部事務組合、広域連合等を含む。以下同じ。）を越えた広域のネットワークの構築 認知症の人やその家族が安心して暮らすためには、地域による見守り体制の構築が重要であることから、各市町村単位で実施される認知症高齢者見守り事業（「地域支援事業の実施について」（平成18年6月9日老発第0609001号厚生労働省老健局長通知）に基づく事業をいう。以下同じ。）と連携して以下の事業を実施する。 ・ 各都道府県における、認知症高齢者見守り事業実施市町村と未実施市町村との課題等の共有のための会議の開催 ・ 市町村を越えた広域での認知症の人の捜索活動を行う模擬訓練の実施等</p>

オレンジセーフティネット に登録をお願いします！

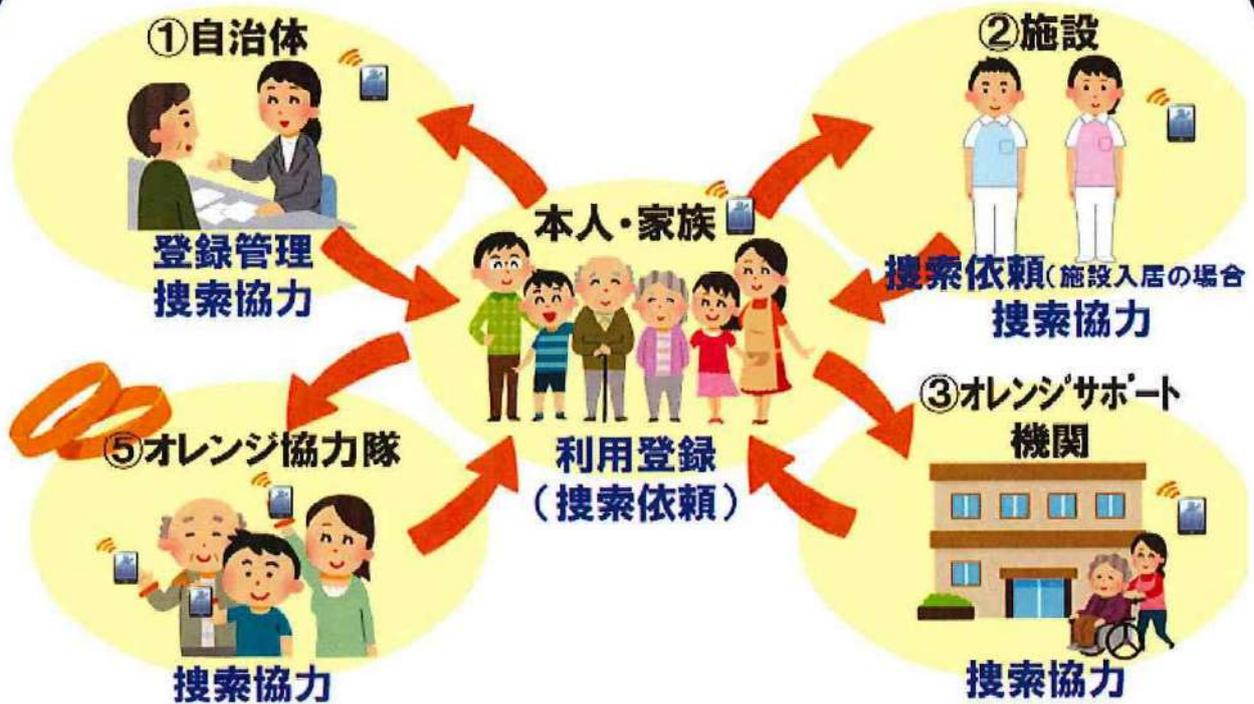
オレンジセーフティネットとは？

認知症高齢者の方を全国横断的にみまもる
全国初のスマートフォンアプリです。

アプリを活用し行方不明になった際にも早期に発見し、
事故等を未然に防ぐことを目的としています。



人的な検索協力ネットワークを全国共通の仕組みで構築



家族とは？

対象者：認知症高齢者・ご家族の方、等
利用者負担：無料
登録方法：WEB・自治体窓口

オレンジ協力隊とは？

対象者：スマートフォンをお持ちでアプリを活用した検索協力にご協力いただける方
登録費用：無料
登録方法：WEB・自治体窓口

お問い合わせは裏面をご覧ください ➡

注意事項 ※お申込み前に必ずご確認ください 

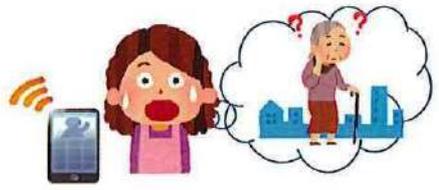
※1:スマートフォンの機種、通信会社は問いません。
ただし、らくらくホン(ドコモ)、シンプルスマホ(Softbank/au)など、端末の仕様・制限によりアプリケーションの追加ができない端末ではご利用いただけません。また、**ガラケーもご利用いただけません。**

※2:アプリのインストールやシステムを利用するためにはデータの通信料金が発生し、所有者様のご負担となりますので、**パケット料金の定額プラン**でのご利用をお勧め致します。

**オレンジセーフティネットは
アプリで検索の依頼と検索協力を行います**



STEP 1 検索依頼
家族・支援者による
アプリからの検索依頼



STEP 2 検索
検索依頼を受け取った
協力隊による検索協力



STEP 3 検索終了
個人情報
非表示に切替



<アプリイメージ>



検索依頼の一斉送信
*距離による範囲指定



「協力者」の
位置/人数の見える化



トーク機能で、
検索状況の交換が可能



依頼取下げ後非表示切替
(24時間経過で削除)

<ご相談・登録は〇〇課窓口まで>

相談窓口	電話番号	住所
〇〇町役場 〇〇課	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	